



「おでかけトロール」(P17) 設置協力(順不同)

関東バス株式会社(西荻窪北口バス停)
木土藍楽
JR西荻窪駅
BoiteBAHAR
Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅店
あめつち仙遊洞
杉並区立桃井第四小学校
とりとり
都立善福寺公園
道具屋慈光
東京女子大学
Northwest-antiques
かがやき亭
杉並区立荻窪中学校
ゆきすきのくに
バルタザール
三井クリーニング
茶舗あすか
ギャラリー壽庵
今野書店
モクタテ駱駝
glass工房602
石村硝子
blue water flowers
藤の木
ヘアサロン+和田
SOFA
大洋興業株式会社
文具 ふじのき
市海不動産
旅の本屋 のまど
珈琲店 物豆奇
木下歯科医院
フジクリーニング
足道楽
Hinodeya.
galerie non

野外×アート×まちなか

トロールの森2023

まことはまやかし、まやかしはまこと

REAL

FAKE

©Copyright 2024 Trolls in the Park Organizing Committee

発行日 2024年3月

三

高島 蒼

野外×アート×まちなか

トロールの森2023

2023.11.3 Fri ▶ 11.23 Thu

テーマ まことはまやかし、まやかしはまこと Real=Fake

都立善福寺公園(上池)

杉並区立桃井第四小学校

西荻窪～善福寺周辺店舗・ギャラリー、路上 ほか

主催 トロールの森実行委員会

後援 東京都東部公園緑地事務所

杉並区

杉並区教育委員会

協力 都立善福寺公園

杉並区立桃四コミュニティスクール

JR西荻窪駅

Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅店

遊工房アートスペース

関東バス株式会社

杉並区立ゆうゆう善福寺館

中央線あるあるプロジェクト

助成 企業メセナ協議会 助成認定活動

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

杉並区文化芸術活動助成事業



【協力】 なみじやない、杉並!

まことはまやかし、まやかしはまこと Real=Fake

SNSで誰もが気軽に情報発信でき、世界のさまざまな情報が瞬時に入手できる現代。AIの急速な進化はとどまる事を知らず、デジタル技術の進展によって、映像や写真の編集・加工はもとより、ヴァーチャルな世界がごく身近なものとなっている今、リアルとフェイクの境も揺らいでいます。Realを見極める目を鍛えることはとても大切。でも、RealがまことでFakeがまやかしとは限りません。FakeなアートこそホンモノのRealかも……。あなたにとってのRealとは? アートの意味やRealとFakeを問い合わせします。

Real is fake, and fake is real. Real=Fake

Today, anyone can easily send information via social networking services, and various forms of information from around the world can be obtained instantly. The rapid evolution of AI continues unabated, and the advancement of digital technology has made the virtual world, not to mention the editing and processing of images and photos, very familiar to us. As the boundary between "real" and "fake" becomes increasingly blurred, it is ever more important to train our eyes to discern what is real. However, "real" is not necessarily true and "fake" is not necessarily false. Fake art can also be the "real" truth. What is real for you? In this edition, we reconsider the meaning of art and the relationship between "real" and "fake".

野外×アート(都立善福寺公園)

野外ならではのダイナミックな作品や自然を背景にしたパフォーマンス、公園の秋の深まりとともに表情を変えるインсталレーションに注目!

Keep a look out for dynamic works of art and performances befitting the park setting, and installations that alter their expression together with the deepening autumn colors!

常設展示作品

P03	1 武蔵野大学 水谷俊博研究室 【インフォメーション兼用作品】	7 SUNHAUS	13 てまひま不動産
P04	2 川嶋貴介	8 中川彩萌	14 土井健史
P05	3 なつばんぱく+桃四小2年生 【ももしワークショップ企画】	9 市川寛	15 桃井第四小学校 絵画・工作クラブ
P06	4 座二郎	10 深沢義一	16 中尾紫香
P07	5 高梨優和	11 永林香穂	17 高島亮三
P08	6 竹厚桂子	12 木村武司	

期日限定作品

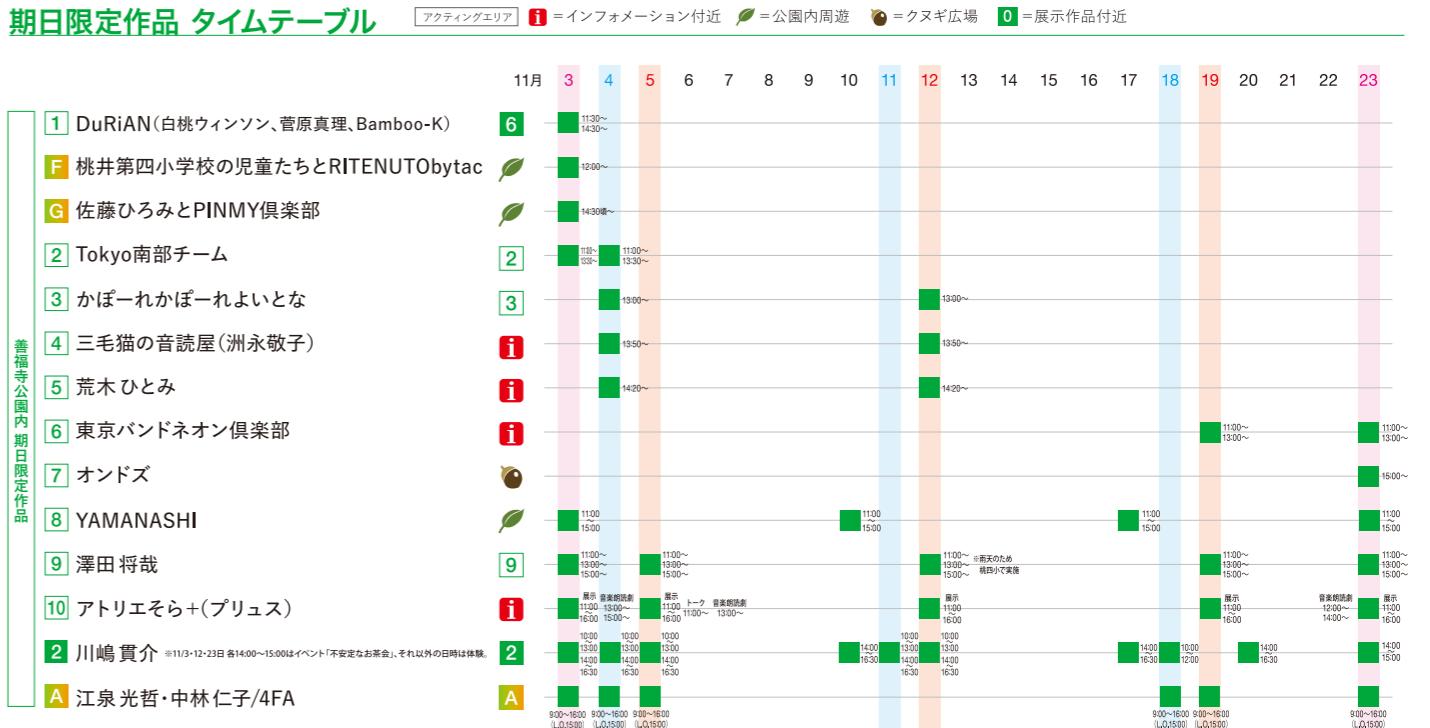
P11	1 DuRiAN(白桃ウインソン、菅原真理、Bamboo-K)	6 東京バンドネオン倶楽部	
P12	2 Tokyo南部チーム	7 オンドズ	
P13	3 かぼーれかぼーれよいとな	8 YAMANASHI	
P14	4 三毛猫の音読屋(洲永敬子)	9 澤田将哉	
P15	5 荒木ひとみ	10 アトリエそら+(ブリュス)	

野外/まちなか つなぐ企画

P16	A 江泉光哲・中林仁子/4FA	D Halmaki(ハルマキ)	
P17	B 武蔵野美術大学芸術文化学科 佐々木ゼミ	E Timo WRIGHT	
P18	C ももしのおでかけトロール	F 桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac 【ももしワークショップ企画】	
P19	G 佐藤ひろみとPINMY倶楽部		



期日限定作品 タイムテーブル



**武蔵野大学
水谷俊博研究室**
Musashino University,
Toshihiro Mizutani Lab.

建築設計を専門分野としながら、空間デザイン、木工制作、アートワークショップなどの実践をする建築家の水谷俊博が主宰する研究室。代表作品に「むさしの文学館」(2020年グッドデザイン賞)「里山フィールドミュージアムビジターセンター」(越後妻有2015)等。



Moby Grape

[建築空間] 合板などの木材

野外芸術祭「トロールの森」の情報発信基地として機能するとともに、展示備品や家具の保管をおこなえるインフォメーション・センター。アート作品や出展作家の活動の情報を発信できる場として、複数の建具やカフェ・カウンター機能をもった建具を装備し、壁面に展示をおこなえる仕掛けを施すことで、さまざまなかたちで来場者の交流をうみだした。



Moby Grape

[Architectural space] Plywood and other wood

An information center that serves as a base for disseminating information about Trolls in the Park, as well as for storing exhibits and furniture. As a place where information on artworks and activities can be disseminated, it is equipped with multiple fixtures and fittings with café/counter functions, while the walls also serve as a display for artworks, creating various forms of interaction among visitors.

**なつばんぱく
+ 桃四小2年生**

Natsubanpaku +
MOMOI-Daishi Elementary School 2nd grade

高野夏美によるひとりユニットとして絵画、立体作品、インスタレーション、パフォーマンス、VJ、DJなどの活動を続けている。



WINDOWS

[インストレーション] ビニール、木材、絵の具

善福寺公園に窓をつくります。私達は窓の外にいるのか、中にいるのか、窓を通してみる世界はリアルでしょうか。私達の心の中にも窓はあります。そしてその窓を通して世界をみています。窓ごしにみる世界は現実とは異なっていたとしても、それは私達のなかではリアルな世界なのです。



WINDOWS

[Installation] Vinyl, wood, paint

We will build a window in Zenpukuji Park. Are we outside or inside the window? Is the world we see through the window real? There are also windows into our hearts. And we see the world through them. Even if the world we see through the window is different from reality, it is still real to us.

川嶋 貫介
Kansuke Kawashima

川嶋貫介建築設計事務所 代表

不安定な床

[インストレーション] 木材、ゴムボール、アルミ箔

森の中に誰でも自由に使うことの出来る床を作ります。ここでは、座ってお茶をしても、寝転がって昼寝しても、踊ってみたりしても構いません。ただし、この床はとても不安定なので、重量バランスによってシーソーのように傾きます。この不安定な床は、私たちが普段意識していない、自分自身の身体性や他者との関係性を、改めて意識させるための装置です。



Unstable Floor

[Installation] Wood, rubber ball, aluminum foil

We will create a floor in the wood that anyone is free to use. Here, visitors can sit and have tea, lie down for a nap, or dance. However, the floor is so unstable that it tilts like a seesaw depending on the balance of weight. Unstable Floor acts as a device to remind us of our own physicality and relationships with others of which we are not usually aware.



座二郎

Zajirogh

1997年 東京都杉並区生まれ

2021年 明治大学理工学部建築学科 卒業

現在、明治大学大学院 理工学研究科

建築・都市学専攻 構法計画研究室所属



木漏れ日

[インストレーション] ターポリンにペンキ

木漏れ日を描いたタープを設置する。絵は空側にして下から見ると墨り空でもうっすらと木漏れ日が見える。そこにある木漏れ日の影はリアルなのか、それとも影なのか。



Sunlight Filtering Through Trees

[Installation] Paint on tarpaulin

A tarpaulin sheet with a picture of the sun filtering through the trees is installed in the park. When looking up at the painting from the side of the sky, one can see the sun filtering through the trees even when the sky is cloudy. Are the shadows visible through the trees real or are they shadows of the imagination?

高梨 優和

Yuwa Takanashi

2000年、東京都生まれ。2019年頃、本格的に制作を始める。スイッチを押すなどの行動を起こさないと鑑賞できない作品をつくり、真っ白な立方体のオブジェを背負って街を歩き回ったりなど、多様な手法で「解決不可能な問題」に触れる活動をしている。



在るところ

【インсталляшн】木製パネルにアクリル絵具、木材
展示場所から見える風景を単純化して描いた絵画。ある文章
が書かれた四角いオブジェクト。これらはアートやリアリティを
構成する諸要素の「在るところ」へと目を向けるための装置として機能する。



Whereabouts

【インсталляшн】アクリルペイント on 木製パネル
A simplified painting of a landscape seen from the exhibition site. A square object with certain text written on it. Both function as devices to direct the viewer's attention to the "whereabouts" of the various elements that make up art and reality.

SUNHAUS

建築とアートの仕事に従事

【インсталляшн】郵便ポスト、机、コンクリート、傘
他公園にポストを設置。訪れた人にFAKE≡REALについて質問。
それを回収し書簡を交換。

こんにちは

【インсталляшн】郵便ポスト、机、コンクリート、傘
他公園にポストを設置。訪れた人にFAKE≡REALについて質問。
それを回収し書簡を交換。

Hello

【インсталляшн】Postbox, desk, concrete, umbrella, etc.
A post box was installed in the park, and visitors were
asked questions about fake≡real. The answers were
collected, letters were exchanged.



竹厚 桂子

Keiko Takeko

京都の田舎で幼少期を過ごした後、東京へ。97年渡米。00年マサチューセッツ州立大学卒業。07年武蔵野美術大学卒業(通信教育課程)。12年より作品を発表。また同年にすがぽん流マイム入門。身体表現も始める。閃きを元に作品を制作している。



A HOME ON A PLANET

【インсталляшн】ミクストメディア

この家には、たくさんの窓があります。違うようで似ています。
ここでは窓はいつも開かれていて、壁もなく自由に行き来できます。
どうぞ窓でいいでください。



A HOME ON A PLANET

【インсталляшн】Mixed media

This home has a lot of windows. They look different, but they are similar. The windows here are always open, there are no walls, so you can come and go as you like.

中川 彩萌

Nakagawa Saiho

1985年 武蔵野美術大学日本画学科在学中に
いけばな草月流に入門
1998年 草月展新人賞
2005年 インсталляшнユニットnekoproを
草月流・水野理美と結成。ねこじらし
プロジェクトを展開中。
2019年-2021年 新いけばな主義
2021年-2022年 野外アート展トロールの森



W.W.W. (Woman Weaving a Web)

【インсталляшн】紙紐

公園に巨大な蜘蛛の巣を張る。
ひとが中に入ることで、この作品は完成する。
そのひとは獲物を待っているのか、はたまた囚われているのか。

W.W.W. (Woman Weaving a Web)

【インсталляшн】Paper string

A giant spider's nest will be stretched across the park.
The work is complete when a person enters.
Is the person waiting for his or her prey, or is he or she a prisoner?

Photo:YOSHIKI NAKANO



市川 寛

Hiroshi Ichikawa

ランドスケープデザイナー。人と自然、両者の関係性に気づかせてくれるランドスケープデザインを目指しながら多岐のプロジェクトに関わっています。実務以外でのアート活動としては海外アーティストインレジデンスの参加など幅広く活動中です。

catch

【ランドアート】木材、落ち葉

善福寺公園は、都市の中で自然のサイクルを肌で感じられる貴重な場所です。“catch”は、自然の移り変わりを体感できるランドアートインスタレーション。自然のサイクルの象徴である落ち葉を、ランドアート作品として触れ体感することで、人と自然の関係について考えるきっかけとなればいいなと思っています。



シェルター

【インсталляшн】木、鉄

60年近く前、この善福寺池から川沿いの斜面には防空壕跡が残っていました。下流の我が母校・荻窪中学校には敷地内に防空壕があり、また下流の井荻公園は私たちのいちばんの遊び場で、埋められた防空壕の入り口は雨宿りや秘密基地で戦争ごっこなどをしていました。昔の話ですが、ついこの間の事です。



Shelter

【Installation】Wood, steel

Nearly sixty years ago, the remains of an air-raid shelter could still be found on the bank of the river running from Zenpukuji Pond, Ogikubo Junior High School, my alma mater which is located downstream, had an air-raid shelter on its grounds, while logi Park—also downstream—was our favorite playground, with its buried air-raid shelter entrance providing both shelter from the rain and a secret base where we played war games. It was a long time ago, but it feels fresh in the mind.



catch

【Land art】Wood, fallen leaves

Zenpukuji Park is a precious place in the city where one can experience firsthand the cycles of nature. catch is a land art installation that allows visitors to experience the transition of nature. By experiencing land art composed of fallen leaves, which symbolize nature's cycles, I hope viewers will be encouraged to reflect on the relationship between people and nature.

永林 香穂

NAGABAYASHI Kaho

1990年、東京都生まれ。2016年、東京藝術大学大学院修了。東京を拠点にして彫刻制作を行う。表現はフォーマルなものからカジュアルなものまで、主に人間をモチーフにした表現をしている。



さぼってん

【彫刻】陶器

「頭の中で生まれた枯れない植物」を作っています。今年こそコロナも終息したと思いたい年。あれ、このお腹は。確かコロナ前はこんな感じじゃなかった。すっかり動いていなかったツケが形になってしまった。その名も「さぼってん」。コロナ禍で蓄積された多肉植物を作ります。



木村 武司

Kimura Takeshi

1972年 神奈川県横浜市に生まれる
見た人が触れてみたくなるような
手にとってみたくなるような
周りの空氣も
作品を見ている人も
吸収してしまうような
実際は作品を見ているのだけれど
見ていることを忘れ
頭の中では時間や空間を超えて
自分自信も覚えていない
遠い過去の記憶や
未来に至る無限の時間を
想像できるような作品を目指して作成しています



Natural-born

【インсталляшн】石膏

日は昇り、星は瞬き、時は流れ。日の光が強いほど陰は黒く、夜空が漆黒であるほど星は輝く。過ぎ去った昨日は今日と異なり、いざれまだ見ぬ明日が訪れる。何かが生まれ、そして消えゆく。絶えず生まれ続ける存在もまた、いざれ薄れ消えゆくあやかしのひとつ。万物の流転。そして生命の循環。



Sabotten

【Sculpture】Ceramics

I am working on a "plant born in my head that will never perish." This is the year I would like to think that the pandemic has ended. This sorry stomach of mine. I don't recall it being like this before the pandemic. The cause of my stagnant bowel movements has taken shape. Its name: Sabotten*. I will make a succulent plant that has accumulated during the Coronavirus pandemic.
*The title is a play on the Japanese word saboten, meaning cactus, and sabotten, a colloquial way of writing "to play truant."

てまひま不動産

Temahima fudosan

[内田尚宏]

1961年、川越生まれ。東京芸術大学建築科卒業。
てまひま不動産西荻事務所にて中古マンションの
リノベーションを担当。

[てまひま不動産]

自然のチカラを活かし風通しや体感温度を整えた
暮らしを提供している会社です。



ちいさなへや

[インсталляшн] 木、土、鉄、石

池を見下ろすように立つエノキの大木の下に、「ユカ」「カベ」「マド」に見立てた建築要素を配置することで、そこに在る人に、ヘヤの中にいるかのような、自然の中に溶けていくかのような想像力を掻き立てる空間をつくる。その中で大木に触れたり、自然の木を足裏で感じたり、触感を使って自分(自然の分身)の存在を実感する。



A Small Room

[Installation] Wood, soil, steel, stone

By arranging architectural elements resembling a floor, wall, and window under a great enoki* tree that stands overlooking the pond, a space is created that stimulates the imagination of those present, creating both the sensation of being in a room and of melting into nature. In this space, visitors can encounter a giant tree, feel the natural wood under their feet, and feel their own presence [alter ego of nature] using tactile sensations. *Chinese Hackberry

桃井第四小学校 絵画・工作クラブ

MOMOSHI's
Painting & Craft Club



もしもしトロールボート

[インсталляшн] ボート、ペイント

桃井第四小学校の絵画・工作クラブの児童が3艘の手漕ぎボートをペイントしました。土曜日・日曜日・祝日には乗ることができます。善福寺池の水面からトロールの作品を見て回るのはいかがでしょうか。



土井 健史

Takefumi Doi

1974年、滋賀県生れ。現在、大成建設株式会社建築設計3部室長。2021年、アート活動開始。瀬戸内国際芸術祭2022、六甲ミーツ・アート2022などに出演。雑誌『Casa BURTUS』「2022見逃せないアート100」選出。日常の風景に何かを付加することで、場所やモノの背景や理由を顕在化する作品を作成。



じゃまな境界

[インсталляшн] 蓄光プラチェーン

地球上に境界を引いたのは、人である。人が引いた境界が、対立を生み、差別を生んでいる。人は、なんだかんだ理由をつけて差異を強調するために境界をつくる。果たして、多様性を受け入れる今の時代、差異を強調するための境界は必要なだろうか。この作品は、公園内にあえて境界をつくり、境界の必要性を問うた作品である。



Distracting Boundaries

[Installation] Phosphorescent plastic chain

Boundaries are a product of human creation. These human-drawn boundaries on the earth give rise to conflicts and discrimination. People create boundaries to emphasize differences, using all sorts of reasons to highlight disparities. In today's era, where diversity is increasingly accepted, one wonders whether there is a need for boundaries that emphasize differences. This artwork intentionally creates boundaries within a park to advocate against the necessity of such boundaries.

中尾 紫香

NAKAO Shikou

1977年、東京都生れ。2015年よりトロールの森参加(その間、1年お休み)。いけばな講師。ここ数年、手を加えたものが自然環境の中でどのように変化するかに興味があります。



遙野井橋(仮称)

[インсталляшн] ミクストメディア

設置期間:2023年11月3日~11月23日

用 途:空想の橋

善福寺池にFAKEの橋を架けた。水面に映る遙野井橋(仮称)はFAKEのFAKEなのか、FAKEのREALなのか...?



MOMOSHI's Troll Boat

[Installation] Boats, paint

Students from MOMOSHI's Painting and Craft Club painted three rowboats. Visitors can ride them on Saturdays, Sundays, and holidays. How about taking a look around the Trolls' artworks from Zenpukuji Pond?

Photo by Ikarashi Masahiro

高島 亮三

TAKASHIMA Ryozo

趣味:路傍の石ころ採集、コケ鑑賞
特技:四つ葉のクローバー探し
好きな言葉:個人主義は他人主義に通ず
好きな食べ物:とんかつ、みかん
好きな美術家:ベン・シャーン
好きな有名人:植村直己、岡村孝子



DuRiAN

(白桃ワインソン、Mari, Bamboo-K)

DuRiAN
(Winson Shiramomo, Mari, Bamboo-K)

メンバーを特定せず、友人など参加したい人達でパフォーマンスをする自由なグループ。デュリアンを大きな宇宙に見立て、その中に小さなあなた(u)と私(i)がいるというのがグループ名の由来。

ドレミファソラまど

[パフォーマンス]

ダンスとマイムを交えた創作作品。
「今日も明日も、私のまま、あなたのまま、私たちのまま生きる。」
衣装:白桃ワインソン



DoReMiFaSoRaMADO

[Performance]

A creative performance that combines dance and mime.
"Today and tomorrow, I will live as I am, as you are, as we are."
Costume: Winson Shiramomo



[概念] テーマ
今年の「トロールの森」のテーマは「まことはまやかし、まやかしはまこと Real=Fake」。なので、事務局より正規のキャプション台を2基お借りして、向かい合うように設置。どちらがキャプションで、どちらが作品なのか。はたまた...

[Concept] Theme
The theme of this year's "Trolls in the Park" is "Real is fake, and fake is real. Real=Fake". So, I borrowed two official caption stands and set them up facing each other. Which is the caption and which is the work? or...

Tokyo南部チーム

Tokyo Nambu Team

始まりは即興ダンスのワークショップです。興味があるのは、動き、言葉/語り、ダンス、瞑想です。



川、水、森(仮)

[パフォーマンス/ダンス]

「川が流れる」と聞いてなんとなく、青い、水色の水が流れているのを思い浮かべたけれど、近くの多摩川の実際の色はもっと暗い青緑だった。天気や川の大きさによって川の色は変わるものだ。自分の思い浮かべた水と実際の水をきっかけに、生き物に必須な水が流れている川にまつわる諸々をもう少し意識をしたいと思った。



かぼーれかぼーれよいとな

Kapore kapore yoitona

踊れ! かっぽれ!

[舞踊]

2009年からトロールの森のパフォーマンス部門に参加。善福寺ゆうゆう館を拠点に、橋本フサヨの指導によるかっぽれの稽古に励む善福寺のかっぽれグループ。

Dancing! Kappore

[Kappore Dance]

IKappore is a traditional Japanese dance that has been performed since the Edo period. The five groups of Kappore dance—Ise Ondo, Yakkasan, Fukagawa, Otsu-e, and Kappore—performed here may appear familiar, but have never been seen before.



River, Water, and Forest (tentative title)

[Performance/Dance]

When I heard the words "the river flows," I somehow pictured the flow of blue or light blue water, but the actual color of the nearby Tama River was a darker blue-green. Presumably the color of the river changes depending on the weather or the volume of water. Using the water I imagined and the actual water as a starting point, we will create a performance piece in the forest of Trolls with a greater awareness of various things related to rivers, through which water essential for living things flows.

三毛猫の音読屋(洲永敬子)

The Calico cat's Reading Room(Sunaga Keiko)

「青べか物語」(山本周五郎作)

[朗読]

物語の舞台は、昭和の初めの千葉の漁師町・浦粕町(現在の浦安市)。現在では世界的テーマパークができ、若者で賑わうが、かつてはさびれた漁村であった。水辺の風景とともに、人々の暮らしとドラマが描かれる。悲喜こもごもの物語の中から抜粋して、朗読をお届けします。

“Aobeka Monogatari” by Shugoro YAMAMOTO

[Reading]

The story takes place in Urasakicho (now Urayasu City), a fishing town in Chiba in the early Showa period. Today, it is home to a world-class theme park and the town throngs with young people, but it used to be a deserted fishing village. The work depicts the lives and dramas of its residents, together with the waterfront scenery. For this work, I will present a reading of excerpts that tell tales of tragedy and joy.



2008年より西荻窪在住。からだと息で言葉を伝える朗読を身近な場所で行う。「かぼーれ・かぼーれ・よいとな」のメンバーとしても活動中。

荒木 ひとみ

Araki Hitomi

風詠み

[リーディング]

作家の方が書いた言葉を声にすることで、新たな感情に出会えることがあるのではないかと思い、声にしたい気持ちを抑えきれず、やらせていただきます。秋の1日の風の中で、詠みたいものがあります。

Kazenumiya

[Reading]

I am doing this because I cannot stop myself from wanting to give voice to the words that the author has written, and I think that by voicing them, I may encounter new feelings. I have a poem I would like to recite in the wind of an autumn day.



宮崎県出身。始まりは小四の学芸会。演劇への憧れやまず、英文科に行くと嘘について大学の演劇科へ。在学中に劇団の研究生となり、そのまま諂ひきれず。ワークショップで会える言葉にさらに惚れ込む。



東京バンドネオン倶楽部

Tokyo Bandoneon Club

東京バンドネオン倶楽部は、1994年の設立以来アルゼンチン・タンゴを演奏する20名の団体。世界的なバンドネオン奏者小松亮太氏の指導を仰ぎ、毎年都内のホールでコンサートを開催。その他、高齢者施設などで演奏。海外では韓国公演を2回経験。「トロールの森」出演5回目。



タンゴ・ライブ

[音楽演奏]

アルゼンチンタンゴの代表的な蛇腹楽器バンドネオン数台と、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、そしてタンゴダンサーのアンサンブルで秋の公園をノスタルジックに染め上げます。生演奏ならではのタンゴのリズムとロマンチックな世界観をお楽しみください。



オンドズ

Ondoz

オンドズ1号の橋本フサヨとオンドズ2号の奥秋亜矢で活動。



踊らにやソソソ!

[舞蹈(盆踊り)]

西尾賢、チャンキー松本らの作詞作曲、橋本フサヨの振り付けによる「西荻案内音頭」「たがやせ!どじょうおじさん音頭」「酪農音頭」のトロールの森でしか見られない音頭を観客参加で踊ります。



Dancing Fool!

[Bon Festival dance]

Let's dance to the well-known songs of Trolls in the Park, Nishi Ogi Annai, Tagayase Dojo Ojisan, and Rakuno, enjoying ourselves while standing apart from one another.

YAMANASHI

2020 筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形領域 卒業
2023 筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群芸術学学位プログラム総合造形領域 修了

人間か人形か

[パフォーマンス]

人形を人間に、人間を人形に近づけて行くと、その区別がなくなり、ある一点を境に人間と人形が入れ替わってしまうのではないか。その時「人間とは何か」という問い合わせてきます。人間(リアル)か、人形(フェイク)か。そもそも人形とは人間のフェイクなのか。あなたの目にはどちらがリアルに見えますか?



Caravan no.2_Co-Creation Space

[インсталレーション&ワークショップ] 鉄、アルミニウム、OSBボード、ジャンクパーツなど本作は、街中を転々と移動しながら人々との交流を続けていく中で、新たな知見や再認識といった気づきをワークショップによって体験するための作品です。人と人を繋ぐ啓発装置として、さらには自転車として移動する共創の場として、芸術活動を行う場所に対して摇さぶりをかける試みです。



Caravan no.2_Co-Creation Space

[Installation & Workshop] Materials: Iron, aluminum, OSB boards, junk parts, etc. This artwork is designed for visitors to experience new knowledge and reaffirmation through workshops amidst the continuous interaction of people as they move around the city. It attempts to subvert the places where artistic activities are normally conducted, acting both as a means of enlightenment to connect people and as a place of co-creation that moves around as a bicycle.

Photo: Motohiko David Suzuki, Ph.D.



Human or Doll

[Performance]

If you bring dolls closer to humans and humans closer to dolls, the distinction will disappear, and at a certain point humans and dolls will switch places. At that time, the question "What is a human being?" comes into view. Is it a human (real) or a doll (fake)? Are dolls fake human beings in the first place? Which one looks more real to your eyes?

アトリエそら+(プリュス)

Atelier SORA Plus
本と本棚を巡る冒險 第7巻

[展示・ワークショップ・パフォーマンス…プロジェクト] 素材:木 ほか電子書籍もいいけど「紙の本」は読むだけでは済まない。本棚に並べたり、枕元に横んでおいたり、手触りを楽しんだり、誰かに手渡したり。さまざまな場所や人を巡りながら、出会いや出来事を誘発していく。本棚作りワークショップ、木漏れ日の下での読書スペース、朗読劇、本の場所を繋ぐ試み、トークなど、本を巡る冒險の数々。第7巻。

Adventure Through Books and Bookshelves Volume7

[Installation] Wood, etc.

E-books are great, but paper books are more than just reading. You can put them on a bookshelf, stack them under your pillow, enjoy the feel of them, or hand them to someone. The seventh volume of this project involves a bookshelf-making workshop, a reading space basked in sunlight penetrating the trees, a reading theater, an endeavor to connect places where books are located, talks, and many other adventures involving books.

本を多角的に楽しむことをめざすユニット。アトリエそらは、ワークショップやビジュアル担当。+(プリュス)は、朗読劇やトーク担当。

メンバー: 村松真千子
富永一美
早内佳子
ゲスト: 横山ゆうこ(朗読劇演奏)
廣畠達也(トーク)



野外/まちなかつなぐ企画

江泉光哲・中林仁子/4FA

MITSUAKI EIZUMI・NORIKO NAKABAYASHI / 4FA

日程 展示: 11/3(金・祝)~23(木・祝)

カフェ: 11/3(金・祝)・4(土)・5(日)・18(土)・19(日)・23(木・祝)

会場 CafeBarひととてま、都立善福寺公園(上池)クヌギ広場

SPACE INTO THE SPACE [インスタレーション] ワイヤー、木どちらかがRealでどちらかがFakeということだけで、容易く解決してしまって良いのだろうか? ホンモノとニセモノ? 真実か否か? RealとRealが混ざり合う時、その空間はRealと言えるのだろうか。それともFake? Realな社会生活を瞬間移動させる実験的インсталレーション。

SPACE INTO THE SPACE

[Installation] Wire, wood
Can we easily solve problems of authenticity simply by saying that one thing is real and the other is fake, or that one is true or not? When real and real are mixed, can that space be called real? Or is it fake? This work is an experimental installation that transports us to a moment of real social life.



4FAは江泉・中林が共同主宰する設計事務所です。私たちのスタイルは、先ず想いを共有する所からスタートします。さらに、周囲の環境や風景、時代の空気感とも対話を重ねながら建築やインсталレーションなどの作品を提案しています。

Photo: tomoko yamane

武蔵野美術大学芸術文化学科佐々木ゼミ

Sasaki Seminar, Department of Arts Policy and Management, Musashino Art University

日程 | 11/3(金・祝)~23(木・祝) 会場 | 都立善福寺公園(上池)、西荻北4丁目エリアに点在

たねまき

[空間インсталレーション] 木材 ほか

私たちは「たね」をまく。蒔いたことに気がついた人は、もしかしたら、そこに水をあげてくれるかもしれない。もしくは、芽が出たり、枯れてしまった後に、やっとその存在に気がつく人もいるだろう。ゆっくりとした時間が流れる西荻窪の日常において、「たね」のある風景へと模様替えを試み、束の間の空間をつくり出す。

Tanemaki

[Spaceal Installation] Wood, etc.

We will sow seeds. People who notice our sown seeds may water them. Others may finally notice the seeds' existence after they have germinated or withered and died. In the slow pace of daily life in Nishi-Ogikubo, we will attempt to redecorate the landscape with "seeds" to create an ephemeral space.

特別協力(順不同)

Boiteボわっ

Hinodeya

ほっぺるランド西荻窪

大洋興業株式会社

たまめし食堂

旅の本屋のまど

物豆奇

かきぞえ食堂



「空間」と「アート/デザイン」の交わる
研究領域を機軸に、芸術文化と社会を
架橋するための方法研究に取り組んで
いる。



ももしのおでかけトロール

MOMOSHI's Adventurous Trolls

日程 | 11/3(金・祝)~23(木・祝)

会場 | 都立善福寺公園(上池)、杉並区立桃井第四小学校、杉並区立荻窪中学校、
東京女子大学、JR西荻窪駅付近から都立善福寺公園付近

おでかけトロール

[インсталレーション] 木

西荻窪駅からバス通りへとのびるトロールたちが、公園内へと続き、森でかくれんぼ。

'Odekake'(Adventurous) TROLLs

[Installation] Wood

Trolls that can be seen from Nishi-Ogikubo Station all along the bus route will continue on into the park, playing hide-and-seek in the woods.



Halmaki(ハルマキ)

日程 | 11/3(金・祝)~23(木・祝)

会場 | 都立善福寺公園(上池)、蔵書室ふもと

1982年8月28日、神奈川県生まれ。CGデザイナー、アートディレクターとして活動。2014年からはプロジェクションマッピング、インタラクティブアート、XRコンテンツの作品を制作、発表。ニュイブランシュ京都、ラフォルジュルネ新潟、京都大琳派祭、StaroRiga等のライトフェスティバルに作品を出品。



Haunted Exploration

[ARコンテンツ]

街の歴史を紐解くお化け探検、肝試しのツアーに出かけよう！

この土地にしかいないお化けや付喪神たちが、お祭りの賑やかさに引き寄せられてやってきた。11月のこの時だけ、スマートホンの画面越しに姿を見せて、この土地の昔の物語を教えてくれるよ！人に沢山見られたお化けは警戒して隠れてしまうこともあるので、消えてしまう前に見つけに行こう！



Haunted Exploration

[3DCG, AR]

Let's go on a haunted exploration that unravels the history of the city, a tour of courage! Ghosts and tsukumogami (tools that have acquired a spirit) that are unique to this land have been attracted by the liveliness of the festival. Only at this time in November do they appear through the screen of your smartphone to retell old stories of this land. Ghosts that are seen by many people may be wary and hide, so be sure to find them before they disappear. Let's find them!

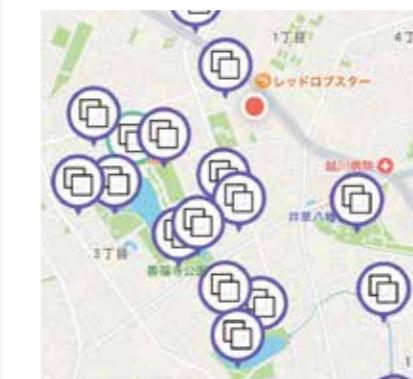


Timo WRIGHT

日程 | 11/3(金・祝)~23(木・祝)

会場 | 都立善福寺公園(上池)、
西荻窪・善福寺界隈

フィンランドのメディアアーティスト。映画、VR、
オーディオを駆使し、没入型体験を生み出す。



レムナント・レイヤーズ(残りの層)

[位置情報に基づいたオーディオ体験]

Remnant Layers(残りの層)は、真実と虚偽についてのインタラクティブで実験的なオーディオドキュメンタリーです。善福寺エリアには、日本で録音されたものやフィンランドで録音されたものなど、さまざまな音声コンテンツがあります。StoryDropsのアプリを使い、さまざまな音を楽しんで、何が真実で何が真実ではないかを理解してください。さまざまなサウンドを聴きながら、地元の本当の音なのか、遠く離れたフィンランドの音なのか、何がリアルで何がフェイクかを想像してみましょう。



Remnant layers

[Location-based audio experience]

Remnant Layers is an interactive, experimental audio documentary about truth and falsehood. The Zempukuji area has a variety of audio content, some recorded in Japan and some recorded in Finland. Enjoy different sounds and understand what is true and what is not. Imagine what's real and what's fake while enjoying a range of different sounds, whether they're real local or far away in Finland.

桃井第四小学校の児童たちと RITENUTObytac

Students of Momoi Daishi Elementary School
and RITENUTObytac

ファッションショー 展示
日程 11/3(金・祝) 日程 11/10(金)～12(日)
会場 都立善福寺公園(上池) 会場 GALLERYみずのそら

Model
@hii_deka_hii
@je_suis_yui
@cyukin_—
@marcia_aguirre0927
@sakirinami
@_sak_ko
@satsuki_oooo
@yuri_anna
@serina_okinawa
(Loss artificial flowers provision)
@mashuuflower
(bckstage & photo)
@tomonista
@mic_985

RITENUTObytac
衣装デザイナー。ロンドン芸大卒。帰国後、cm.MV、映画、舞台等の衣装を手がけ、衣服を媒体に芸術作品を発表。



The Possibilities of Children-Upcycle Fashion Show

[ワークショップパフォーマンス]

桃井第四小学校の児童たちとのワークショップにて制作した衣装を着たモデルによるファッションショー。衣装の素材は不要になった衣服、廃材。アップサイクルなファッションショーでもあります。

衣装とファッションショーの写真を、GALLERYみずのそらで展示。

The Possibilities of Children-Upcycle Fashion Show

[Workshop/Performance show]

An upcycle fashion show featuring models wearing costumes made from discarded clothes and scrap wood created by students of Momoi Daishi Elementary School.



佐藤ひろみとPINMY俱楽部

Sato Hiromi and PINMY Club

日程 11/3(金・祝)

行程 桃四小→(バス)→西荻窪駅→(ウォーク)→都立善福寺公園周遊

ピンク ラブ ウォーキング

[ウォーキングパフォーマンス]

pinkの衣装を身に纏い、PINMY俱楽部のメンバーは、西荻窪からまちなかを通り善福寺公園までLOVE walkingします。まことはまやかし、まやかしはまことの世界は、PINMYの夢のあふれる世界でもあります！

Pink Love Walking

[Walking performance]

Dressed in pink, PINMY Club members will "Love Walking" from Nishi Ogikubo to Zenpujuji Park through the town center. The world where real is fake and fake is real is also a world full of PINMY's dreams!



佐藤ひろみ自作のpinkの衣装は、20着を超えます。pink色を基調とした作品をつくり続けています。pink色を通して世の中が明るく前向きになりますように。

まちなか×アート

西荻窪から善福寺公園周辺までをエリアに展開するまちかどアートや公演など多彩なプログラム！

A diverse program of events, from art on street corners to public performances taking place in the area between Nishiogikubo and Zenpukuji Park!

Art Program Around Nishi-Ogikubo

野外／まちなかつなぐ企画 まちなか(西荻窪～善福寺周辺)

- P16 A 江泉光哲・中林仁子/4FA
B 武蔵野美術大学芸術文化学科 佐々木ゼミ
C ももしのおでかけトロール
D Halmaki(ハルマキ)
E Timo WRIGHT
F 桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac
G 佐藤ひろみとPINMY俱楽部

- 1 シムラ/サカウエ/サービス
2 ナイトスキップ
3 池の畔の遊歩音楽会チーム
4 RITENUTObytac
5 木澤航樹
6 平岡真生

- 7 遊工房オープンスタジオ
8 植田真紗美
9 永林香穂
10 丹尾敏
11 ベビートロール・プロジェクト
12 蔵書室ふもと

関連企画

- 1 西荻たんけん隊
2 清明庵(真香塾)
3 今川図書館
4 桃井第四小学校合唱団
5 0円均一
6 水野理美



シムラ/サカウエ/サービス

Shimura/Sakae/Service

日程 11/3(金・祝)、4(土)

会場 西荻シネマ準備室

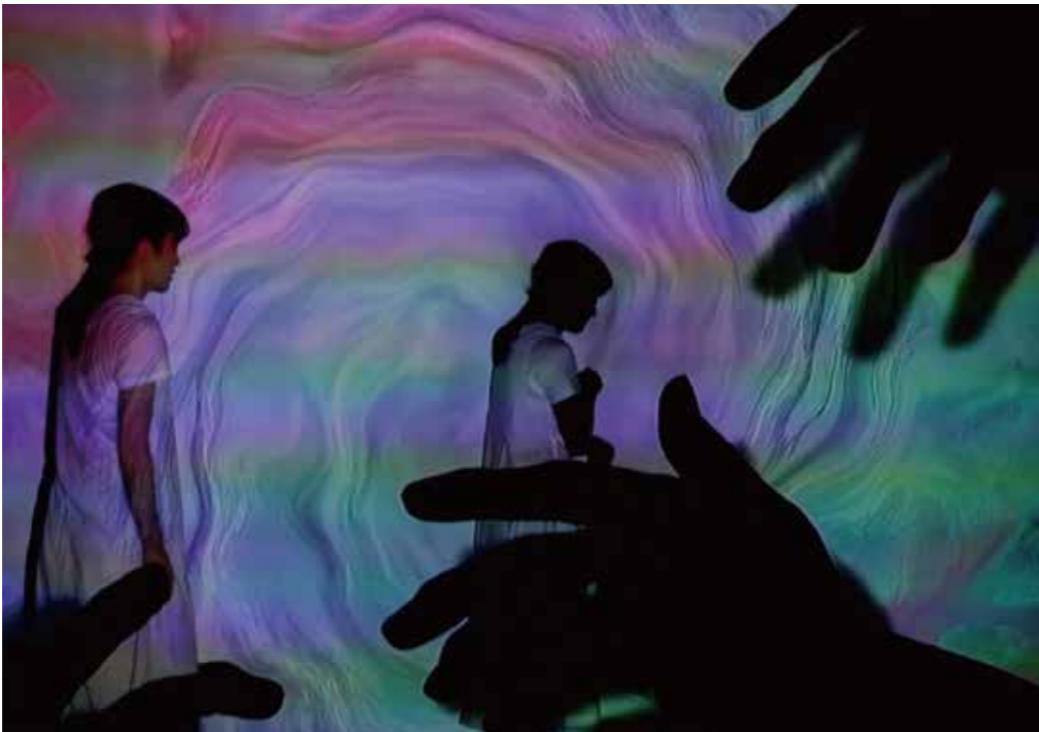
板橋区志村坂上を拠点に活動する映像パフォーマンス集団です。一緒に志村坂上を盛り上げたい方や制作したい方を募集中。



Sweet Dream

[映像・パフォーマンス]

リアルタイム映像と演劇をミックスして記憶と時間を行き来する不思議な体験 ある動画配信者が見た夢をきっかけに 記憶の深化と認識を再構築する 不思議なエクスペリエンス。舞台装置や映像と共に楽しんでください。



Sweet Dream

[Visual performance]

A mysterious experience of going back and forth in memory and time by mixing real-time video and theater. A wondrous experience triggered by a certain online streamer's dream, where memories are deepened and perceptions are reconstructed. Please enjoy the work together with the stage set and images.

池の畔の遊歩音楽会チーム

Team Promenade Concert around the Pond

日程 11/19(日)

会場 井草八幡神宮大鳥居(解散:善福寺池下池)

音風景のナビゲーター/鳥越けい子と放浪の楽師/辻康介により2010年にスタート。楽師仲間を増やしつつ、土地の環境文化資源を発掘・発信する歌その他のパフォーマンスを展開・蓄積。その開催方法には、いくつかのバージョンが生まれている。



池の畔の遊歩音楽会2023:TASOGAREの向こうへvol.2

[散歩・トーク・パフォーマンス]

秋の夕暮れを意味する「黄昏/たそがれ」は「彼(か)は誰(たれ)」から來たもので、人の見分けもつきにくくなる薄暗い時間帯を意味します。それは、光に覆い隠されたまやかしの世界から、まことの世界が闇のなかから立ち現れるときでもあります。遊歩音楽会が呼び覚ますこの土地の記憶、かつて「遙野井」と呼ばれたこの土地の歴史と物語りと一緒に旅しましょう！

A Pondside Walk Concert 2023: Beyond the Twilight vol.2

[Walk, talk, performance]

Tasogare (Twilight in Japanese) meaning autumn dusk, comes from the phrase 'he is who/who is he' and refers to the dim time of day when it becomes difficult to distinguish or identify persons. It is also the time when the real world emerges from the darkness, from the fake world immersed in light. Let's journey together to the real world of this land, whose old and real name is 'Osonoi', and the memories of this land that our concert evokes!



ナイトスキップ

NightSkip

日程 11/18(土)

会場 西荻シネマ準備室と屋外

場と一体となる、からだを手放しからだそのものになる時間。スキップするしないは不問。地を踏む、弾む、浮揚する… 表現以前の感覚を大切に感じ想像広がる世界との交流。2011年より活動。変わりゆく場の話を聴き行う地名を冠したナイトスキップは醍醐味。



西荻ナイトスキップ2023 ~逢魔が時の西荻散策

[アクティビティ(トーク、ワークショップ、散策)]

江戸時代に遡り知られざる西荻の話を、地元に生まれ育ち住まうに詳しい方にうかがってから、周辺を散策し、身も心もその場と一体となって時も越えてみようという時間です。(スキップしなくても大丈夫です)



Nishiogi-NightSkip2023 ~Twilight Strolling in Nishiogi

[Activity(talk, workshop, strolling)]

After hearing stories about Nishiogi dating back to the Edo period by a local expert who was born, raised, and lives in the area, you take a stroll around and nightskip walking with guide, and will become one with the place and transcend time. (It does not matter whether you do an act of skipping or not.)

RITENUTObytac

日程 11/10(金)、11(土)、12(日)

会場 GALLERYみづのそら

衣装デザイナー&アーティスト ロンドン芸大卒 CM、MV、MV、live等の衣装制作と並行し、衣服を媒体に衣服の可能性、素材の可能性を追求した芸術作品を制作発表する。

Instagram
(photo)
@thomyoshida
@nkyn_photo



Fashion phoARTo

[衣装&写真]

現実と非現実 作られた現実は非現実なのか 私たちの感じている現実とは全て作られたものなのではないのか 非現実こそ現実なのか。現実と非現実を行き来する 衣服と写真作品の展示。Artとfashion photoの融合



Fashion phoARTo

[Exhibition of fashion garment and photography]

Reality and Unreality Is created reality unreal? Is not all reality that we perceive a fabrication? Is it not unreality that has reality...? An exhibition of clothing and photography That comes and goes between reality and unreality. A fusion of art and fashion photos.

Fashion phoARTo
Exhibition

木澤 航樹

Kisawa Koki

日程 11/12(日)

会場 西荻シネマ準備室

1992年杉並区生まれ。大学卒業後、一般企業でシステムエンジニアとして働く傍ら、映画美学校に通い映像制作を学ぶ。現在、東京フェイクドキュメンタリー映画祭主催者、映像作家として活動。



西荻フェイクドキュメンタリー映画祭

[映像上映]

「フェイクドキュメンタリー」という映画ジャンルを聞いたことがありますか？架空の人物や出来事をドキュメンタリー風に撮影・演出した映画や、事実と虚構が混在した映画を「フェイクドキュメンタリー」と題し、西荻窪周辺や杉並区にゆかりのある映像作家の作品を中心に上映します。事実と虚構の境にようこそ！



Nishiogi Fake Documentary Film Festival

[film screening]

Do you know the "fake documentary" film genre? A fake documentary is a fiction movie shot like a documentary or a film including both reality and fiction. In this work, I will screen great fake documentary films made by directors related to Nishi-Ogikubo and Suginami. Welcome to the boundary between reality and fiction!

遊工房アートスペース

Youkobo Art Space

日程 11/19(日)～23(木・祝)

会場 遊工房Studio-1 「善福寺石版画工房」
遊工房Studio-3 「遊工房 NEOW マンダラ」

1988年より海外アーティストの受け入れを開始。2001年、さらに活動を充実させ、主に現代美術の発信を目的とするギャラリー、創作スタジオ及び滞在施設を備えたアートの複合施設を本格化した。2022年来的コロナ禍の活動停滞を経て、2023年より、リトグラフ工房、シェアスタジオなど、3つのスタジオを中心に、グローバルなアーティストとの交流や、地域に根ざした芸術活動を継続展開している。



遊工房オープンスタジオ

[スタジオ公開と展示]

2023年4月にスタートした新生遊工房は、板津石版画スタジオ(studio-1)、若手アーティストシェアスタジオ(studio-2)、遊工房オリジナルスタジオの3つのスタジオから構成。会期中は石版画専門工房の一般公開及び、遊工房35年の歴史アーカイブに関連した川村そらによるインсталレーションの展示を実施。



平岡 真生

Hiraoka Mao

日程 11/22(水)、23(木・祝)

会場 西荻北4-1-6 松平ビル隣の空き地



Pink Elephants

ピンクのゾウになっていたかもしれない目を、或いはそれに息を吹きかけるように

[インсталレーション] ミクストメディア

西荻南口仲通り商店会のアーケードにピンクの象が設置されている。「ピンクの象が見える」という言葉を手がかりに、セイラムの魔女裁判やLSD、集団の同調圧力、見えないやりとりやありえたかもしれない物語を作り出すことを試みた。



Pink Elephants

-Eyes that could have turned into pink elephants, or like breathing into them.

[Installation] Mixed media

A pink elephant is installed in the arcade of Nishiogi Minamiguchi Nakadori Shopping Association. Using the phrase "I see a pink elephant" as a clue, I tried to create a story about the Salem witch trials, LSD, group peer pressure, invisible interactions, and what could have been.

植田 真紗美

Masami Ueda

日程 11/3(金・祝)～29(水)

会場 駄馬とオレンジ

新聞系出版写真部、東京都広報課写真担当を経て独立。第1回キヤノンフォトグラファーズセッション最優秀賞受賞。第19回写真「I_WALL」ファイナリスト。恵比寿にKoma gallery設立。写真誌『WOMB』制作・発行。写真集に『海へ』(Trace)。



Re

[写真作品]

遺失物販売店で出会った「もの」が正体不明だったことから、新しい名前をみつけるように想像しながら元遺失物を撮影した写真作品。本来の姿とは異なりながらも、さもありなんと写し出された「もの」たち。忘れられた「もの」が再び活躍するとき、まことまやかしもあるのだろうか。



Youkobo open studio

[Open Studio & Exhibition]

The new Youkobo, which started in April 2023, has three studios: Itatsu Lithograph Studio (Studio-1), Young Artists' Share Studio (Studio-2), and Youkobo Original Studio. During the exhibition, the lithography specialty studio was opened to the public, and an installation by Sora Kawamura related to Youkobo's 35-year history archive was exhibited.

永林 香穂

NAGABAYASHI Kaho

日程 11/3(金・祝)～23(木・祝)

会場 nidoカフェと駐車場を結ぶ壁面(屋外)

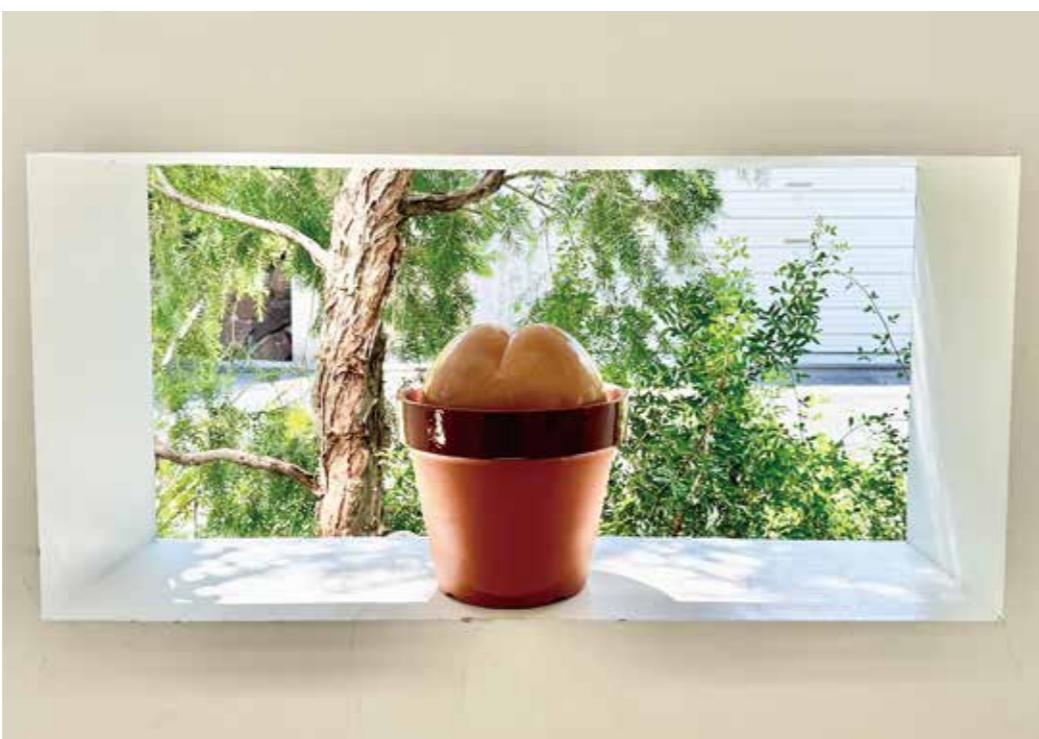
1990年、東京都生まれ。2016年、東京藝術大学大学院修了。東京を拠点にして彫刻制作を行う。表現はフォーマルなものからカジュアルなものまで、主に人間をモチーフにした表現をしている。



おしりダケ

[彫刻] 陶器

「頭の中で生まれた枯れない植物」を作っています。窓のように四角に抜けた壁に作品を飾ります。壁の先には本物の植物があり、私が作ったおしりダケはまだ植物の世界に入れていないことが面白いと感じて展示をしました。今年のテーマになっている『まことはまやかし、まやかしはまこと Real =Fake』おしりダケはまだ植物になれていないけど私は考えています。



Oshiridake

[Sculpture] Ceramics

I am making a "plant born in my head that will never perish." The work is displayed on a wall with four corners missing like a window. There are real plants beyond the wall, and I have exhibited the plant I created because I find it interesting that it has yet to be included in the world of plants. This year's theme is "real = fake." I believe that Oshiridake has simply yet to become a plant.

ベビートロール・プロジェクト

Baby Trolls Project

日程 11/3(金・祝)～23(木・祝)

会場 子ども・子育てプラザ善福寺

ベビートロール

[インсталляーション] ベニヤ板、アクリル絵の具

もう一人の自分を型取った作品、乳幼児の小さなトロールを制作し、子ども・子育てプラザ善福寺の外壁に展示。自分の分身のように町中に浮遊するトロールたち。大切な一瞬を切り取ったトロールは子ども自身か、分身か、まことかまやかしか。

Baby Trolls

[Installation] Plywood, acrylic paints

Small Baby Trolls molded by participating infants as their other selves, displayed on the exterior wall of Zenpukui Children's Hall. The trolls float around town like the infants' alter egos. These trolls, which capture precious moments, may be the children themselves, their alter egos, real or fake.



丹尾 敏

nio bin

日程 11/3(金・祝)～23(木・祝)

会場 西荻窪駅Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅店前

愛知県常滑市在住 鍛冶屋修行後、鍛冶/彫刻
niobin studio設立 鉄と同じ波動を感じたいという強い欲求 鉄と地球と人間の関係性の矛盾に向き合い 見つめ・感じ・聞こうとする行為を大切にし 創り続けている 個展・グループ展で活動 生活に取り入れる鍛冶屋仕事も行っている



回旋塔 -過ぎ去らない時-

[インсталляーション] 鉄

初めての鉄の記憶は、遊具で遊んだ後の手についた錆の匂いでした。公園からどんどん消えていく鉄の遊具。幼いころの記憶、それ以前の記憶をたどる原風景を思い起こし、自分の起点に立ち戻っていけるような空間体験を築きたい。



Rotating Tower -The Time That Never Passes

[Installation] Iron

My first memory of iron was the smell of rust on my hands after playing on playground equipment. Iron-made playground equipment is disappearing from parks. Recalling the original landscape of my childhood and earlier memories, I would like to construct a spatial experience that allows people to return to their own starting point.

蔵書室ふもと

Fumoto Library

日程 11/3(金・祝)～23(木・祝)

会場 蔵書室ふもと

「物語(おはなし)」をぬろう!

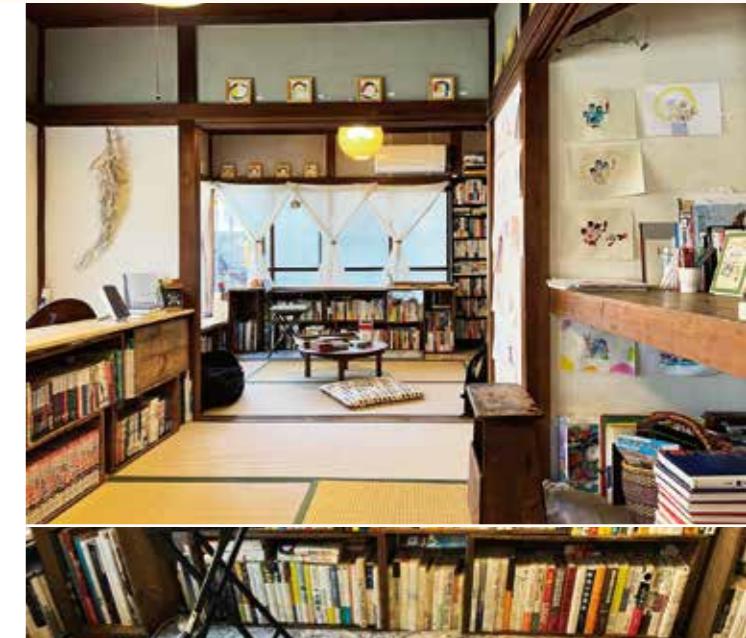
[参加型展示]

図案家モノ・ホーミーさんは、絵とそこから想起される物語を、「貝がら千話」として1000日ものあいだ描き続けてきました。今回、約5分の物語の朗読から得たインスピレーションを、ホーミーさんの未完成の絵に描いたり、塗ったりしてもらう参加型展示を開催! 生まれた新しい「物語」は蔵書室内に掲示します。期間中はホーミーさんの原画展も!

Let's Paint "Stories"!

[Participatory Exhibition]

For 1,000 days, graphic designer Mono Houmii drew pictures and wrote a story inspired by these drawings to create the book, Kaigara Senwa (a thousand tales of shelffish). This time, Houmii will hold a participatory exhibition in which visitors are invited to draw or paint on Houmii's unfinished pictures while taking inspiration from five-minute story readings. The new "stories" will be displayed in the Fumoto Library. An exhibition of Houmii's original drawings will also be held during the exhibition!

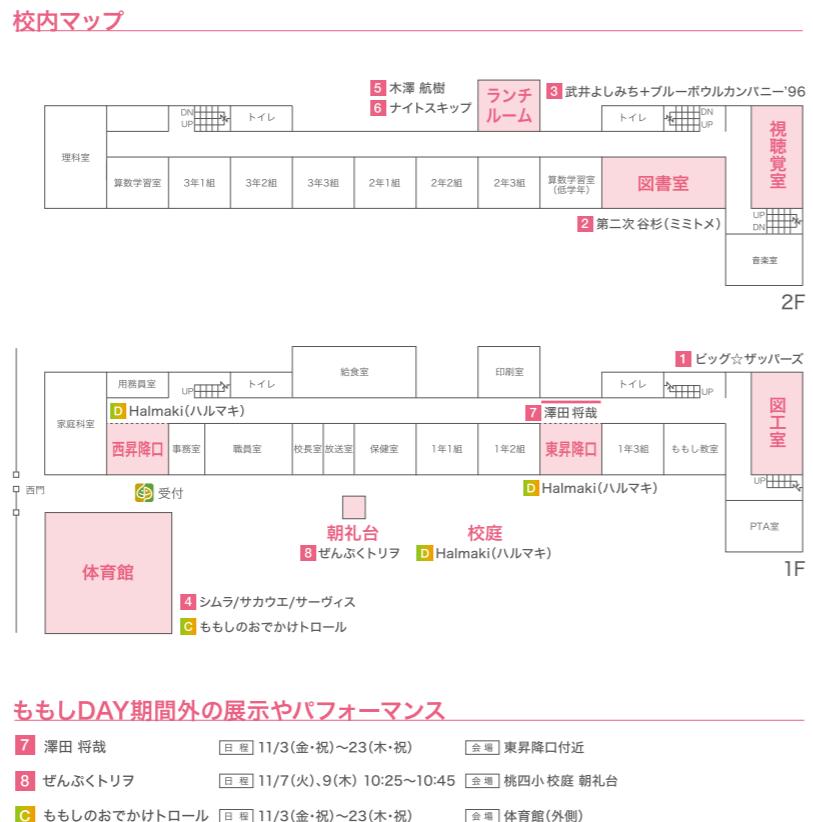
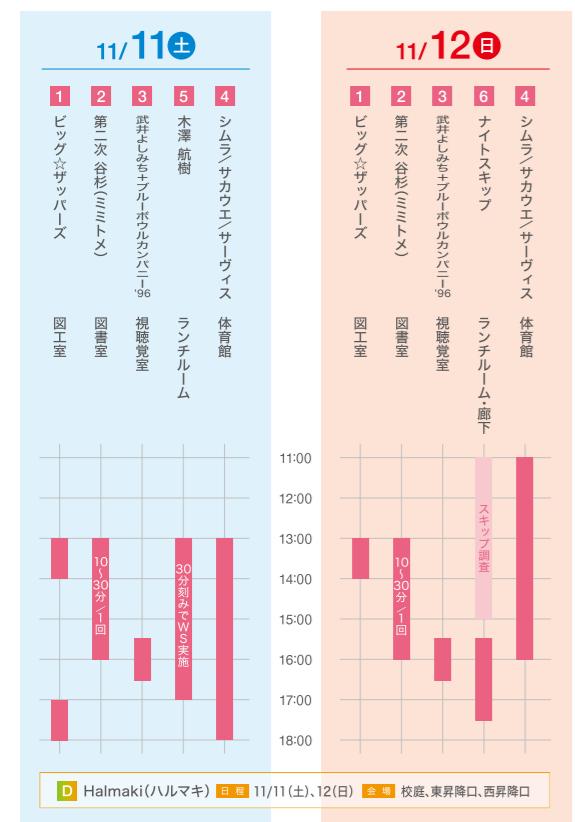


東京都杉並区、善福寺公園近くに生まれた蔵書室。ただそこにいることがゆるされる「本のある場所」を目指して、編集者の夫、ライターの妻、その長男と次男の一家4人で活動しています。

もししDAY

MOMOSHI DAY

桃井コミュニティスクールを会場にした展示やワークショップ、パフォーマンス等の公演を11月11日(土)・12日(日)の2日間に集約しました。



ビッグ☆ザッパーズ

Big☆Zappers

[日程] 11/11(土)、12(日)
[会場] 杉並区立桃井第四小学校 1F 図工室

ビッグ☆ザッパーズとは、ダンスと演劇の3人組。
松元夢子=東京乾電池劇団員。趣味、読書。
江積智織=振付家、ダンサー。上原尚美に師事。
彩のくに創作舞踊団員。
松元日奈子=ダンサー。彩のくに創作舞踊団員。



まんなかから、ななばんめくらいの話

[演劇&ダンス]

思い出にまつわる個人的な物語



It's About the 7th Story from the Middle

[Drama and dance]

A personal story about memories.

第二次 谷杉(ミミトメ)

Dainiji Tanisugi (Ears+Eyes)

[日程] 11/11(土)、12(日)
[会場] 杉並区立桃井第四小学校 2F 図書室

2019~22年: トロールの森『声の小さな舞台俳優』
『身振り採集』『あの時の鳥家族』
『息するように365のセリフ』
『100人の見えない演技者』
2021年: 中之条ピエンナーレ『一人称劇場』
2022年: 北とびあ演劇祭『ご井内さんのお宅ですか?』
2023年: 北とびあ演劇祭『今下さん王子駅前にいました』



注文の多い図書室

[参加型演劇インスタレーション]

演劇の枠組みを援用し、鑑賞者の参加によって成立する演劇インスタレーションです。図書室の入口で本を受けとり、指示にしたがってウロウロしたりつぶやいたりしてください。図書室が劇場に、鑑賞者が俳優になってしまうかも?



武井よしみち+ブルーボウルカンパニー'96

Takei Yoshimichi + BlueBallCompany'96

[日程] 11/11(土)、12(日)
[会場] 杉並区立桃井第四小学校 2F 視聴覚室

足が耕す表現の世界 第9弾「視・聴・覚を澄ませてみよう」もう一度の巻 [パフォーマンス]
頭から最も遠いところに位置している「足」 視覚や聴覚から無防備に流入してくれる情報を懸命に処理している「頭」の営みは ひとまず置いて あえて生身の「足」の営みに注目してみる 生身の「足」はどんな情報を送ってくれるのだろうか?
私はここにいます。

STEP & CHANT Vol.10 Let's Open Our Vision, Hearing and Perception Again [Performance]

The "feet" are located furthest from the head. For one moment, put aside the "head." Which works hard to process the unstoppable influx of information. Entering through our vision and hearing, And dare to pay attention to the activity of our living "feet." What kind of information do our feet send us? I am here.



1996年より「武井よしみち+ブルーボウルカンパニー'96」として創作活動開始。
日常生活の根幹をなす「歩行」を表現の主体に置き、足の動きを「数字や拍や声」等に変換しつつ、都市文化、都市空間を考察する手掛かりとして「足からの視点」で身体表現の作品を発表してきた。近年はレクチャーパフォーマンスも行う。

The Library with Many Instructions

[Immersive Theatrical Installation]

This is a theatrical installation that invokes the framework of theater while establishing itself through audience participation. Please take a book at the library entrance and follow the instructions to wander around and whisper. Might the library be transformed into a theater and the participants into actors?

木澤 航樹

Kisawa Koki

日程 11/11(土)

会場 杉並区立桃井第四小学校 2F ランチルーム

“喜び”の可視化と“喜び”についての対話 [ワークショップ]

誰かとちゃんと話すことがない毎日……。自分以外の人が、日々の生活中で、何に対し、どのように喜びを感じているのか、不思議に思いませんか？そこで、“喜び”的感覚を可視化できるアプリを独自に作成してみました。皆で喜びを視覚化して、それぞれの喜びについて、少しお話ししてみましょう！

Workshop/Visualization of DELIGHT [Workshop]

Do you wonder what kind of joy others feel in daily life? I made an application system that visualizes your delight. Let's visualize our happiness and talk about what delights us with others!



1992年、杉並生まれ。大学卒業後、一般企業でシステムエンジニアとして働く傍ら、映画美学校に通い映像制作を学ぶ。現在、東京フェイクドキュメンタリー映画祭主催者、映像作家として活動。

ナイトスキップ

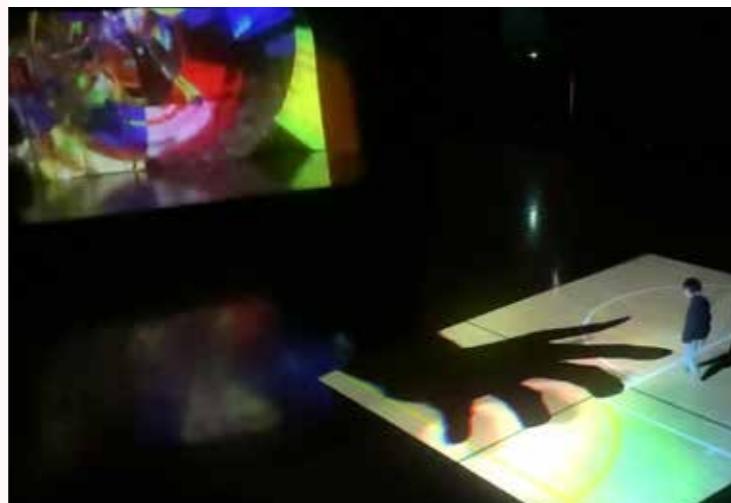
NightSkip

日程 11/12(日) 会場 杉並区立桃井第四小学校 2F ランチルーム

西荻ナイトスキップ2023～しぐさをほどく宵の口編 [アクティビティ(トーク、ワークショップ、散策)]

Nishiogi-NightSkip2023 –Unwind the Gesture: Evening Edition [Activity(talk, workshop, strolling)]

前半はスキップを切り口にひとの在りようへと広がる話と交流。後半は寝転がり地を感じることからスキップの「踏む」動作を基調にしたワークショップ。老若男女どなたでもご参加できます。



シムラ/サカウエ/サービス

Shimura/Sakaue/Service

日程 11/11(土)、12(日) 会場 杉並区立桃井第四小学校 体育館

Sweet Dream

[映像、インсталレーション]
[Video, installation]

1日目はまちなかで開催したパフォーマンスをインスタレーション版として公開。
2日目は「桃四」をモチーフにした映像インсталレーション。



野外/まちなかつなぐ企画

Halmaki(ハルマキ)

Haunted Exploration

[ARコンテンツ]

日程 11/11(土)、12(日)

会場 杉並区立桃井第四小学校 校庭、
1F 東昇降口、西昇降口

街の歴史を紐解くお化け探検、肝試しのツアーに出かけよう！この土地にしかいないお化けや付喪神たちが、お祭りの賑やかさに引き寄せられてやってきた。11月のこの時だけ、スマートホンの画面越しに姿を見せて、この土地の昔の物語を教えてくれるよ！人に沢山見られたお化けは警戒して隠れてしまうこともあるので、消えてしまう前に見つけに行こう！



もしもワークショップ企画

澤田 将哉

自分らしいって何だろう？ 『アルミ線で作るワイヤーツリー』

[インスタレーション&ワークショップ]

日程 11/3(金・祝)～23(木・祝)

会場 杉並区立桃井第四小学校 1F 東昇降口付近

身のまわりにある「木」をアルミ線によって表現しながら、「木」のらしさを探り、その過程の中で「自分らしさ」を見つけるヒントを探し出すことに挑戦してもらいました。



ぜんぶくトリヲ

朝礼台ライブ

[パントマイム]

日程 11/7(火)・9(木)

会場 杉並区立桃井第四小学校 校庭

朝礼台を舞台とした、子供達との想像力全開の中休み20分！演目は、「タロウ」。昔話の御三家太郎・金太郎・浦島太郎、桃太郎を朝礼台狭じと演じます。



Collaboration with School

学校との協働

桃四コミュニティスクールでのワークショップやトロールの森鑑賞授業、おでかけトロールの設置協力など、トロールの森と学校や地域との新たな協働の形。

もしもワークショップ

トロールの森に参加したアーティストによるワークショップ。子供たちの作品が、善福寺公園のインスタレーションやファッショナショナルの衣装にも♪

3 なつばんぱく

対象 2年生 [P03]



F RITENUTObytac

対象 4年生 [P19]



7 澤田 将哉

対象 6年生 [P30]



トロールの森 鑑賞授業

対象 4年生 日程 11/6(月) 11:00～12:00

作家から子供たちへの問い合わせが載っている「見つけたシート」を手に作品を鑑賞。児童の感想は、各アーティストに届けられました。



春のトロールとおでかけトロールの拡大

GW期間中「ちがいが輝く92人のトロール」と題し、桃井第四小学校4年生92人の作品が、もしもしの森(愛称)に展示されました。2014年にスタートしたこのプロジェクトは、秋には「おでかけトロール」として西荻窪のまちなかと善福寺公園をつなぐ企画へと対象やエリアを拡大し継続しています。まちなか展示等にあたっては、桃四コミュニティスクールの保護者によるアートボランティアも活躍。



西荻たんけん隊

nishiogitankentai

日程 11/3(金・祝)、19(日)、23(木・祝) 集合 JR西荻窪駅改札口

西荻まち歩き「今を歩いて、過去と未来に想いを馳せる」

[まち歩き(お散歩)]

西荻窪駅に集合して、途中作品を見たり、スポットで止まったり。西荻の歴史を振り返るとともに未来に思いを馳せながら、善福寺公園を目指します。上池についたら、展示作品やパフォーマンスを堪能します。

Nishiogi Town Walking -Walking in the Present, Thinking About the Past and Future

[Town walking]

We will gather at Nishi-Ogikubo Station, stopping at sites along the way to view artworks. While looking back on the history of Nishiogi and pondering the future, we will make our way to Zenpukuji Park. After arriving at the upper pond, we will enjoy the exhibited works and performances.



清明庵(真香塾)

Seimeian(Shinkajuku) Zen·zenpukuji

日程 11/11(土)、18(土) 会場 清明庵

善福寺池を飲み干す

[参加型パフォーマンス]

善福寺公園上池ボート乗り場横の清明庵には、善福寺池を見渡すお茶室があり、お茶室から見える善福寺池は、一面グリーン色で、御抹茶池と表現してもよいものです。このプログラムは、一椀のお茶を飲めば善福寺池を飲み干すことになるという禅的な考え方を自ら体験してもらうことを目的にしています。単なるお茶体験ではなく、お茶碗の中に広がる一服のお茶が、自然そのものであり、飲む自分と飲まれるお茶と目前に広がる善福寺池とが一つと感いたなければ幸いです。

Drink up Zenpukuji Pond! [Participatory performance]

Seimeian, a building adjacent to the boat platform of the upper pond in Zenpukuji Park, has a tearoom overlooking Zenpukuji Pond, and one could describe the green water seen from the tearoom as a matcha pond. The purpose of this program is to allow visitors to experience for themselves the Zen notion that drinking a bowl of tea signifies the action of drinking up Zenpukuji Pond. We hope visitors will not simply experience tea, but rather nature itself spreading from inside the teacup, where the act of drinking the tea and the Zenpukuji Pond spread before you become one and the same.



今川図書館

Imagawa Library

日程 11/3(木・祝)～23(金・祝) 会場 今川図書館

ほんとうのこと

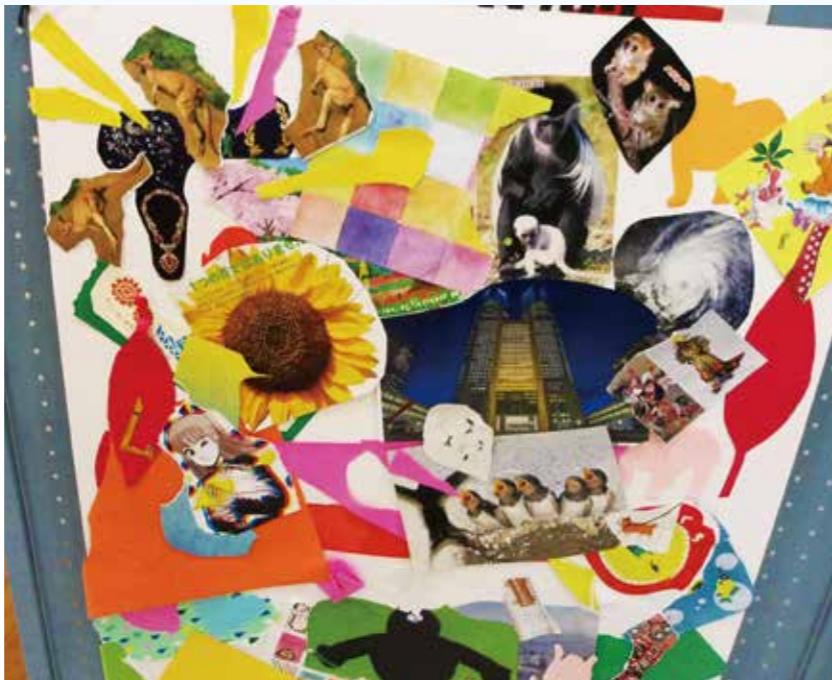
[絵本] 紙

来館者に好きな素材をコラージュしてもらい大きな絵本を作ります。

The Truth

[Big book] Paper

Library visitors are invited to collage their favorite materials to create a giant picture book.



桃井第四小学校合唱団

Momoi Daishi Elementary School Choir

日程・会場 11/11(土) 杉並区立桃井第四小学校 体育館
21(火) 都立善福寺公園 インフォメーション前

大好きって気持ち

[合唱]

桃四小の4～6年生が所属する合唱団です。本年NHK合唱コンクール東京都予選金賞、本選出場を果たしました。コンクールで披露した歌を大勢の方に聞いていただければ嬉しいです。

The Feeling of Love

[Chorus]

The choir consists of 4th to 6th graders from Momoi Daishi Elementary School. This year, the choir won a gold prize in the preliminary round of the NHK School Choir Competition and advanced to the Tokyo finals. It would make us really happy if many people could come join us to enjoy the songs we performed at the contest.



0円均一

Zeroyen Kinitsu

日程 11/3(木・祝)～23(金・祝) 会場 善福寺から西荻窪地域のあちこち

0円均一 善福寺商店街 2023

[アクティビティ]

「0円均一 どうぞご自由にお持ち下さい」と書かれた箱に各家庭の不用品を入れ、「0円で売り／買い(譲る／貰う)」する活動です。「0円均一」の1箱1箱を「個人商店」と見なし、トロールの森の会期中に善福寺地域で不特定多数の「個人商店」が「開店」することで、「0円均一 善福寺商店街」を形成します。

EVERYTHING ZERO YEN – Zenpukuji Shopping Arcade 2023

[Activity]

An activity that utilizes boxes with "EVERYTHING ZERO YEN" printed on them to "sell/buy (give away/receive)" unwanted household goods for zero yen. With each box regarded as a "private shop," an uncertain number of "private stores" will open their doors in the Zenpukuji area during the Trolls exhibition, forming the "EVERYTHING ZERO YEN shopping street."



水野 理美

Rimi Mizuno

日程 11/3(木・祝)～23(金・祝) 会場 都立善福寺公園サービスセンター ミニギャラリー

ここに顕れる

[インсталレーション] 銅版画、フォトインタリオ、植物(葉)、ワイヤー
善福寺池の豊かな水、武蔵野の樹々や花々の気配を感じて描いたイメージドローイング。それを元に作成した版画と植物の線による立体。これらを使って、私の感じた空気感を公園内のギャラリーに構築します。

Signs Appear Here

[Installation] Etching, photo-intaglio, plant(leaf), wire

While feeling the presence of the trees and abundance of water in Zenpukuji Park, I made drawings based on the images that came to me. I created a copperplate engraving and a three-dimensional work using lines of plants based on these drawings. Using these, I would like to "construct" the atmosphere I experienced.



Photo:Nakano Yoshiki

情報発信

「トロールの森2023」広報ツールや掲載記事など

広報ツール



作品募集ビジュアル(web用)



ポスター(A1・A2・A3)



ガイドブック(A5判 16ページ)



のぼり

トロールの森公式Webサイト
(<http://www.trollsinthepark.com/>)



掲載情報



東京新聞(紙面・web版)
(2023/11/7[火]掲載)



あるあるプロジェクト
なみじやない杉並!
(東京新聞 2023/10/30[月]夕刊掲載)



東京三昧 Vol.009
(2023年9~11月号)



LIVING むさしの
(2023/11/14[火]他)

ブログでの言及



舟之川聖子さん(今川図書館主催「トロールの森アートツアー」講師)のブログより
※他にも多数のブログ、SNSで紹介・発信されました。

「365ART+」誌の掲載記事



11/3(金・祝)に行われた、桃井第四小学校の児童たち+RITENUTObytacのアップサイクルファッションショーが、英・日・露語の同時発信アート誌の「365ART+」2024年2月号に見開きで掲載されました。

Publicity

トピックス

「トロールの森2023」での事務局企画や新しい試み、番外ニュースなど

インフォメーション

[日程] 11/3(金・祝)~23(木・祝)

武蔵野大学水谷研究室による作品①は「トロールの森2023」の情報発信基地でもあります。これまで日祝のみのオープンでしたが、2023年は、平日は武蔵野大学水谷研究室、土・日・祝はアーティストと事務局スタッフが受付を担当。カンパしてくれた方に永林香穂⑪⑬の缶バッジガチャにトライする趣向も。



スタンプワークショップ

[日程] 11/3(金・祝)、12(日)、23(木・祝)

インフォメーションの隣で、会期中の日・祝日の3日間エコバッグにスタンプを押すワークショップを実施。子供たちがカラフルなスタンプを前に、楽しそうに取り組んでいました。



参加作家の作品販売

[日程] 11/6(月)~10(金)、13(月)、14(火)、20(月)~22(水)
会場 ことビル1階 カフェ入り口付近
ことみせギャラリー

「トロールの森2023」参加アーティストの作品や関連商品の展示・販売。

〈参加アーティスト〉

⑥竹厚桂子

⑪⑬永林香穂

⑧植田真紗美

⑥水野理美



アーティスト・ディ/アートツアーア

[日程] 11/3(金・祝)、23(木・祝) ※アートツアーアは11/3のみ

都立善福寺公園(上池)会場では、出展者が作品の付近に待機し、訪れた人に自作を紹介するアーティスト・ディアを、会期の初日と最終日に実施。また、コロナ禍にあって見送っていたアートツアーアも、4年ぶりに再開(初日のみ)。事務局スタッフとともに作品を鑑賞しながら、作家との対話と交流が行われました。



もしもアートライン

[日程] 11/11(土)~12(日)

もしもDAYの会場(桃四小)には、案内マップと同色のラインテープが外門から校内へと貼られ、来場者を目的の教室まで、迷うことなく誘導しました。



おでかけトロール@西荻センターまつり2023

[日程] 3/5(日)

2023年3月5日に開催された、「西荻センターまつり2023」。体育館に設置された特設ステージ、そのバックにトロールがおでかけしました。躍動感のある23体が並ぶ前で、中学生の吹奏楽や大人のフラダンスなどが演じられ、トロールたちが舞台に彩りを添えました。

